

2025年度 第4回 運営推進会議 議事録

- 1 日 時 令和7年11月17日(月) 15:00～16:00
- 2 場 所 地域密着型小規模特別養護老人ホームはぎの郷 地域交流スペース
- 3 出席者(敬称略)

利用者家族：○田○子

地域代表：○戸○夫(民生委員)

地域包括支援センター：○地○子

市役所地域福祉課(市職員) ○野

事業所：宮武昭彦(施設長) 藤原麗子(介護支援専門員)

迎山 加代子(介護職員)

欠席者：○田○高(自治会長) ○田○男(利用者)

○本○一(特別養護老人ホームうおずみ施設長)

4 会次第内容

(1) 開会の挨拶、施設長挨拶

ただいまより、2025年度の第4回のはぎの郷の運営推進会議を始めさせていただきます。お忙しい中お時間いただきまして有難うございます。

(参加された利用者様、ご家族に運営推進会議の説明を行う)

出席者の方の自己紹介から始めさせていただきます。

(2) 出席者の自己紹介

出席者より自己紹介いただき会次第に入る。

(3) 「はぎの郷」の現状報告(介護支援専門員)

現状報告(令和7年10月31日現在)を用いながら入居者の状況及び事業所が取り組んでいるサービス内容を報告する。

5 質疑応答・意見交換

(施設長)：コロナが落ち着いてきたことを受けて、やっと地域の保育園との交流を再開致しまして、交流会に参加していただきました。家族様にも参加していただきまして、保育園の子達が来てくれ、おじいちゃん、おばあちゃん長生きしてねという歌を歌ってくれたり、ふれあいの場を開いていただいたりしました。逆に施設からは子供たちにプレゼントをして非常に良い地域交流が出来たと思います。

資料にヒヤリハット、事故の報告を載せておりますので、次第に沿って会議を進めて皆様と質疑応答をさせていただきたいと思います。

ご意見：(民生委員)

ふらっとカフェというのは、職員の方が連れて行かれているのですか？

(介護支援専門員)：

はいそうです。カフェへの参加どうですか？とお声掛けいただいたので、お試
しで、初めての事でしたのでご利用者様お一人を連れて行かせていただいて美
珈琲を入れて貰いました。

ご意見：(民生委員)

家族の方も参加出来るのですか？どちらかと言うと、家族の方や認知症の方が
主体で参加されていると聞いたので、もし良かったら家族の方も一緒に参加し
ていただいたら良いのではないかなと思いました。

(施設長)：そうですね。有難うございます。

(介護支援専門員)：

今回はお一人だけの参加でしたが、施設内でも色々交流が出来たらとお話が
出まして、1階2階3階の方が集まりましてイベントなどもしたりしているので
内部でも行事に力を入れているので、また機会があればカフェに行かせていた
だければと思っています。

ご意見：(民生委員)

今後は拡大するかもしれないと言う事ですね。

(介護支援専門員)：

そうですね。

ご意見：(民生委員)

面会や交流も増えてくるかと思いますが、インフルエンザが増えてきているみ
たいですので、従来通りマスクや消毒などで対応するという事でしょうか。

(施設長)：そうですね。マスク、消毒と共有スペースでの交流は避けています。居室の
中で家族様と面会していただいています。語弊があるかもしれませんが万が一
感染症が出た場合、お部屋の中だけのゾーニングで抑え込んでいくという状況
で、施設全体にクラスターが起きないように現在行っています。

ご意見：(地域包括支援センター)

面談室面会と言うのはどういった時に行われているのですか？

(施設長)：人数の多い親戚の方が来られたり、お子様の人数が多い時は面談室も使って
いただいたりして、ユニットに入るのを避けていただいたりしていますが
なるべく居室の方で入って貰っていますので、ほとんど面談室は使っていない
状態です。

ご意見：(民生委員)

地震対応訓練と言うのはどのような事をやられるのですか？

(施設長)：そうですね。地震対応という事で例えば1階の一部が崩れたとか2階の一部

が崩れかけているとか言う時に、消防署から言われているのは水平避難と言うことで右の方が危険な状況であるなら、左のバルコニーに移動しましょう。寝たきりの方の非難はシーツに乗せてタンカ代わりに移動しましょうという事で、基本は外に出るよりは施設内にいる方が安全なので、水平避難を訓練しております。

ご意見：(民生委員)

以前はテーブルの下に逃げなさいとかね言われていましたね。施設内の箆笥等転倒防止の対策などはされているのですか？

(施設長)：テレビなどはしてない状況ですね。利用者様より身長より高い箆笥などは置かないようにしています。低い棚で対応させていただいています。

ご意見：(民生委員)

なるほど低い棚しか置いていないんですね。

(施設長)：感染対策委員会で、感染対策の訓練などはしているのですが、実際にクラスターが起きたという想定で、どのようにゾーニングをかけて、コロナは実際皆様経験されているので経験値はありますが、もう一度改めて訓練をやりましょうと、現在企画しております。

ご意見：(民生委員)

ヒヤリハットと事故と両方に計上されているのですが、おそらく最初ヒヤリハットに計上されていたのが食事中に痰が詰まってと言う内容が事故にも計上されているので、事故と言う扱いになったのかなと思うのですが。

(介護支援専門員)：

最初、ヒヤリとして挙がってきていたのですが、事故だろうという事で事故として挙げ直してもらいました。

ご意見：(民生委員)

見て行くと、転倒リスクが一番多いですね。車椅子からの状態、ベットからの状態とか傾向を見ると同じ方が、何件もあると言う感じですね。

その人達を注意して見守るという事なのでしょうね。1階のF様などは7回ほど発生しており、大体同じような内容の行動をされているようですね。やっぱりある程度自由に動ける方は、それなりにリスクが発生するという事になりますね。

(施設長)：そうですね。1日2回発生して家族様に連絡する場合も有りますので、家族様にも申し訳がないとは思いますが、私はこの報告書を見ながら、前にもお伝えしたと思うのですが、逆に職員が身体拘束していない、スピーチロックやフィジカルロックしていない証にはなっているので、まったく国が身体拘束ゼロだと言っているのにヒヤリハットも何も挙がってこなければ、逆に危険だと思っているので、職員には正直に言ってほしいと。ずり落ちや転倒が起きても

ユニット型で個室なので、なかなか目が届かないところがあるのも理解しているつもりで職員も、どんどん挙げてきているので件数があります。これが事実、この施設の実態だと思っています。

ご意見：(民生委員)

気になったのは、厨房に入られた1階のF様が熱い鍋を触ろうとされたとか本当にこれは怪我がなくて火傷とかも無くて良かったですが、誰も見て無くて厨房に入られてしまう状況になるのが、普段厨房に鍵がかかっているのか分からないのですが、前にも厨房に入られてご飯を食べてしまった方がおられたのですが、そう考えると厨房と言うのは結構危険な因子がたくさんある。厨房に利用者様が入らないように対策するのも必要ではないのかなと思います。

(施設長)：一度厨房を閉めているユニットがあったのですが、私の方針で国の方針でもあると思うのですが、厨房は利用者様も本来一緒に調理したり、手伝ってもらったりする利用者様の物でもあるのだと、そこに私達がユニットの共有スペースに入らせていただいてサービスを提供している訳で、ここの空間の主役は利用者様なので、鍵を閉めて利用者様が入れなくするのではなくて、出来る範囲で手伝って貰って、有難う助かりましたという介護をしないといけないと思っているので、危ないものがあるのであれば、利用者様を入れて来られ無いようにするのではなくて、我々が危険なものを安全な場所に配置するという事で鍵を閉めないように、入れる状態にしないと伝えていきます。夜間職員が一人の時に入られてしまった事もありますが、私が職員に言えることは危険なものは置かないようにする事と火を着けたまま目を離さない事です。入れる状態にはしてあげて下さいとは伝えていきます。

ご意見：(民生委員)

あと、もう1点ですが椅子から立ち上がって、転んで怪我をしたらここから出られると言われた利用者様がいます。1階のF様ですね、この方は元気なのではないかと思うのですが、他の方と状況が違うのではないかと思うのですが、どうなのかなと思ひまして。

(介護支援専門員)：

この方は、ヒヤリと事故が多く挙がってきている方なのですが、すごく不穏な状態になられることが多くて、今までとは違う様子が見られるようになっていまして、後日、身体の傾きが見られるようになり気になったので病院に行ってもらいましたら、脳梗塞を起こされておりました。それで入院されたという経緯がありまして、何かしらご本人の中で起きている不安とかが上手く表現が出来なくて、このような発言になられたのかもしれないと思ったりします。

ご意見：(民生委員)

このF様の内容を見ていると、他の方と若干違った行動をされていますね。

それにより転倒のリスクが上がったりするのかもしれないですね。

(介護支援専門員)：

そうですね。もしかするとしんどいので病院に行こうと考えて動かれたりしたのかもしれないです。明らかにいつもとご様子が違いましたので。

ご意見：(民生委員)

後は、特浴前のケアチェックを忘れた事故ですが、特浴と言うのが良く分からないのですが。

(介護支援専門員)：

特浴と言うのは、機械のお風呂の事なのですが、一般のお風呂と機械のお風呂に入るときも関係なく、入浴前にお熱や血圧を測り問題ないと把握した上でお風呂に入っているのですが、今回はそれが抜けてしまった状況でお風呂に入れてしまったのです。

ご意見：(民生委員)

なるほど。事故で挙がってきている、職員がお茶碗を落として割ってしまったと。これは事故なのかなと思ひまして。確かに家族様に連絡して、すみませんでしたと謝罪はいるかもしれませんが、業務中に起きた事故と言うにはどうかと違和感があったのですが、パジャマを破ってしまいましたとか、事故と言えれば事故かもしれませんが。

(施設長)：事故、ヒヤリと、ケアと言う部分では違うかったかもしれませんが。

ご意見：(民生委員)

確かに、利用者様の持っている物を介護の中で破損してしまったのはやむをえない事なのかもしれませんし。

食事で喉を詰ませたと言うのは大きな事故だと思うのですが、場合によっては呼吸困難になって。食事中はソフト食とかミキサー食とかあると思いますが、この方は普通食の方であったのですか？その後に柔らかいものに変えたと書いてあったので。

(介護支援専門員)：

普段は普通食を召し上がられている方だったのですが、急にお部屋に戻られたので、介護職員がどうしたの？と声をかけると「喉詰めて死にそう」と言われ発覚した状況で、今までは普通に召し上がっておられムセなども全然なかった方なので、本当に急であったので皆が驚いた状況です。咳き込みが出来る方なので詰めたものが出たのですが、その後もまた詰めてはいけないので、パンの日はパン粥にして詰めないように変更しました。

ご意見：(民生委員)

今までの食事中の事故など見てみると、隣の方の食事を食べてしまった等はありませんでしたが、喉に詰めてしまったのは私が、この会議に参加させていただい

てから初めてだと思うのです。本人がよく嚙まずに食べてしまったのか、あるいは餅を喉に詰めたなどはよく聞きますし救急車で運ばれたと聞いたりしますが、注意が必要なのかと感じました。

(施設長)：ありがとうございます。地域包括さんはいかかでしょうか？

ご意見：(地域包括支援センター)

はい。先ほどのパンを詰まらされた方ですが、食べ方ががつつかれる方や口にいっぱい入れてしまわれる方と人それぞれの特徴があると思いますが、この方は今回パンでしたが、そのほかの食パン以外の物で口の水分を取ってしまう様な物であったら注意する必要があるのかなと思いますが、この方は、この時以外、その後は詰めたりは無かったのでしょうか？
詰まりそうになったとか。

(介護支援専門員)：

そうですね、食べるのは本当に早く、食べ物の希望が多い方ではあったのですがこの時もお腹がすいていて、しっかり咀嚼せずに召し上がられて詰めてしまったと思うのですが、その後は詰める事は無かったです。食べるペースは早いですが、しっかり咀嚼して詰めたりは無かったのですが、パンなど口の中の水分を奪われるものですので、そういった食べ物は飲み物に浸して食べていただいたり、食事形態を変更したりして対応させていただきました。

ご意見：(地域包括支援センター)

A 勤と C 勤とは勤務の時間は違うのですか？

(介護支援専門員)：

A 勤は早出で、C 勤が遅出の方です。A 勤は 7 時半からで C 勤は 11 時からの勤務になります。

(施設長)：A 勤が起床時介助から入りまして、C 勤は就寝介助までしてから帰ります。

ご意見：(地域包括支援センター)

お風呂のバイタル測定忘れは、この日がたまたま A 勤の方がお風呂の介助をされるのですか？

(介護支援専門員)：

そうですね。1 階の入浴介助はどうされていますか？

(介護職員)：

その方は 3 階ですね。私のユニット 1 階では B 勤の方が入浴介助をしているので階によって違います。

(介護支援専門員)：

各階によってやり方は違うのですが、3 階は A 勤の方がバイタルチェックをして介助するのですが、ずっと C 勤で勤務されており久しぶりに A 勤に入った為に、バイタルチェックをする業務が抜けてしまっていたようです。チェック

表を見てバイタルが記載されていないのを見て、バイタルをきちんと書く様に別の職員に言われた時に、測定するのを忘れていたことに気が付いたそうですもう一度しっかり業務を見直して確認してから業務をしますと聞いています。

ご意見：(地域包括支援センター)

1階フロアーの方は1階の職員さんが担当なのですね？C勤の方が来られた11時からお風呂が始まるのですか？

(介護支援専門員)：

午前中がお風呂の日と午後からお風呂の日がありますので、バイタルチェックをさせていただいて、看護職員にバイタル報告をして入浴して大丈夫ですか？と確認したうえでOKが出れば入浴介助に入ります。

ご意見：(地域包括支援センター)

バイタル測定をした職員とC勤の方でなくても、誰かもう一人の職員がチェックされるという事ですか？二重チェックという事ですか？

(介護支援専門員)：

そうです。バイタルチェックした職員と別に看護職員が確認したうえで、問題なければ入浴していただく事になっています。ですので今回はそのバイタル測定、確認の工程がまるまる抜けてしまっていた事になります。慣れない、もしくは久しぶりの勤務時間に入るときは業務を確認してから業務をするとの改善案が出ています。

ご意見：(地域包括支援センター)

例えば、この利用者様はこのくらいの血圧であればOKだと、職員さんは大体は把握されているのですか？

(介護支援専門員)：

そうですね、この利用者はいつも大体の血圧や体温はこの位だと分かっていますが、必ず看護職員には報告して入浴しても良いか確認してから入っていただいています。

ご意見：(地域包括支援センター)

ではこの日は、たまたま看護職員はいなかったとかですか？

(介護支援専門員)：

この日は、看護師に確認しないで入浴させてしまっていました。看護職員も一人で無く二人、三人勤務している日もあるので、確認する看護職員が毎回決まっている訳ではなくて、看護師も自分以外の看護職員に確認して入浴したのだと思ってしまったのだと思います。

ご意見：(地域包括支援センター)

あと、車椅子の方でクッションがずれてという事故やヒヤリが2名程いらしたと思うのですが、車椅子に敷かれているクッションや座布団の下には滑り止め

シートなどは敷かれていないのですか？

(介護支援専門員)：

それは、敷かせていただいている、紐が付いている座布団などはずれない様に
くくらせていただいているのですが、車椅子上の姿勢が前のめりに傾く方と
お尻をずらして座るのが楽なので座り直しをしても、お尻をずらされ座られて
それが基本の姿勢になられている方で、少し前にお尻がずれるとそのまま直ぐ
にずり落ちてしまう姿勢の方がいらっしゃるの、都度座り直してはいただい
ているのですが、その瞬間にもお尻を前にずらされるので、ずってしまいがち
な方がいらっしゃいます。車椅子を別の物に変える等、色々試してはみたので
すが座っているのがしんどくてお尻をずらされるので、家族様に依頼してティ
ルト式の車椅子をレンタルして貰い対応させていただいています。

ご意見：(地域包括支援センター)

あと、もう一人F様が脳梗塞で入院された前に「ここに居たくないから」とい
う事で、何か理由があつての事だと思うのですが、10月にも椅子に登ろうと
されたりしていましたが、ここに居たくない何か理由があるのでしょうか？
何故このような言葉が出たのかなと思ひまして。

(介護支援専門員)：

そうですね。特別誰かと喧嘩をしてここに居たくない状況と言う訳では無いの
ですが、奥様への依存心がもともと強い方で、一時すごく落ち着いておられて
時折奥様が面会に来られて、安心して落ち着いており「またいつ来るんや？」
と聞かれる程度だったのですが、9月10月は奥様やお嫁様への依存心がとて
も強く出ておられました。家族にともかく電話をさせて欲しいと言われ、電話
をして、直接家族とお話をして貰っても、その後すぐにまた電話して欲しいと
連続して訴えがあつてかなり精神的に荒れている時であつたので、介護職
員も頑張って宥めたりしたのですが、家族様が参ってしまう程電話や面会の希
望が強くて、家族様も家に連れて帰って下さり気分転換できるように対応して
下さったのですが、施設に戻られてから直ぐに電話して欲しいと言われたり。
短期記憶の維持も難しい方なので、電話した事、面会した事外出した事すべて
忘れて、本人様の中では全く家族様と会ったり話したりしていない状態の為、
何をしても落ち着かない状態でした。その状態が続いている中で急に身体の状態
が悪くなられて、受診して頂いたところ脳梗塞が発覚して入院されました。
もしかすると色々な訴えは脳梗塞からの影響もあつたのかもしれない。

ご意見：(地域包括支援センター)

ここ最近に入居された方と言う訳では無いのですか？

(介護支援専門員)：

そうですね。入居されて1年は経っている方になります。

ご意見：（地域包括支援センター）

今までは、問題なく過ごされていた方ですか？

（介護支援専門員）：

今までも、奥様が心配だと言われて帰宅願望がかなりおありの方でした。落ちついている時とそうでない時の波のある方です。この時はとても不穏も強い時でした。

（施設長）：奥様が参ってしまわれていました。奥様には奥様の生活も有りますし面会や電話などこまめな対応も難しくなっていました。それに伴い不穏が強くなっていった様子です。

ご意見：（地域包括支援センター）

もう一つ、家族会発足に向けて計画。ですがこれはご家族様が集まって色々な話をしたりする会ですか？

（施設長）：そうですね。以前オープンして3年目の時くらいに家族会が一度結成されたのですが、当時の主になっておられた方のご家族が亡くなられたり退居されたりした中で、コロナ禍に入っていましたので家族会も無かったのですが、もう一度イベント等に家族様が参加して下さったり面会も多くなってきていますので、家族会が結束出来たらと思ひまして一度カフェのような形で希望者だけ募ってやってみようかと話が進んでいます。

ご意見：（地域包括支援センター）

ありがとうございます。

（施設長）：加古川市の職員の方、いかがでしょうか？

ご意見：（市職員）

はい。地震対応避難訓練しましたという事で、水平避難でとのお話で、利用者様のお部屋には背の高いものは置かないとしていますとご報告受けたのですがその他に、地震避難訓練を行った職員間で、このような事もあるねと気づきのような事がありましたでしょうか？

（介護支援専門員）：

そうですね。何が落ちてくるか分からないので地震訓練の時は、何か被り物や枕、クッション等を頭において移動したりしているのですが、訓練にも慣れてきたので職員間でもスムーズに避難動作が出来ると思うのですが、寝たきりの方の訓練に関しては、どうしても時間がかかってしまうので、どうしていくかという事と、いざと言う時に自分が判断して動けるのか、どちらに向かって非難するのか等、きちんと判断できるのか、自分もパニックになるのではないかなどの意見がありました。いかに冷静に動けるか、夜間にそのような被害があるかもしれないですが、きちんと出来るのか自身がないとの意見もありました。

ご意見：（市職員）

地震など、昼間は職員もたくさんいる時に起きるあまり無いかと思いますので朝方であったり、夜中であつたりすると思いますので、職員の人数が少なかつたり、職員の方もご家庭があると思いますので、このようないざと言う時にどれだけ職員が駆けつける事が出来るか。近くに住んでいるこの方なら。等の対応の見直しもしていただければ良いのでは無いかと感じました。

あと、お薬を飲んでいなかった事や、1錠落としているなど有りましたが、お薬はなかなか難しいと思いますが、利用者は自分で管理して飲める訳ではないですし、食後などが多いかと思いますが、職員間でしっかり見ていただけたらと思います。改善策にも書いて下さっていますが、見ていただけたらと思います。周りに落ちていないか等も見ていただければ嬉しく思います。

(施設長)：はい。ありがとうございます。

ご意見：(市職員)

あとは、お菓子の差し入れですが、そのまま利用者様のお部屋に持って行くのですか？職員の方に預けずお部屋に持って行かれる感じですか？

(介護支援専門員)：

そうですね、差し入れも面会の時に、例えば今の時期であれば柿が美味しいので持って来たよと、面会中に食べていただく時も有りますし、少し口寂しい時に出してあげて欲しいと、お菓子など持ってきて下さったりするのですが、一応、その方の嚥下状態を見て、これは危険なので持って帰ってくださいと、お返しする事も有りますし、問題なければお預かりして、その方のお腹がすいて来た時や少し不穏になられた時やおやつの時間に追加でお出ししたりはさせていただきます。

ご意見：(市職員)

なるほど。ありがとうございます。ココナッツサブレを置いてあつたとあり、一番詰まりやすい、口の水分を持て行かれてしまう物かと思いますがきちんとされているとは思いますが、確認していただければと思います。

(介護支援専門員)：

家族様には、差し入れは大丈夫ですが、お部屋には絶対置いて帰らないで下さい。残ったものは持って帰っていただくか職員に預けて下さいとお伝えはしていたのですが、お忘れになっていたか少しくらいは大丈夫だろうと思われたのか、それは分からないのですが、面会後にたまたま確認していただいた所、ココナッツサブレを置いて帰られているのを発見し、これは危ないという事になりました。ご本人にはまたお飲み物と一緒にお出ししますとお伝えして預らせていただいたきました。置いて帰られた方はキーパーソンでは無かったのでキーパーソンに連絡して、危険なので置いて帰らず職員に預けていただきたいとお伝えいただく様に依頼しました。その後は、同様の事は無くなりました。

(施設長)：とはいえなのですが、一度お聞きしたいと思っていたのですが、家族様としては食べたいときに食べたいものを置いてあげたいとの家族の愛情があって職員には内緒で置いて帰る気持ちは、家族側としては分かるのですが、ただリスクはあって職員の立場からすると預けて下さいとお伝えしますが、慣れてくると家族としては好きな物を食べさせてあげたいので、分かりましたと言って置いていくのです。そして引き出しを開けると、食べ物が入っている。

この場合、どうなのでしょう。法律としては駄目ではないですが、安全配慮義務はある訳ですので、どこまで本人や家族様の生き方に介入して良いのか。そこを全部禁止して安全だけ守れば施設としては義務を果たした事になるのか食べ物を望まれるのであれば家族様の責任の元で、常食を食べられている方が食べたい物を食べたい。飴玉を部屋で食べたい。職員は飴玉を食べ終わるまでじっと見て待つ事は出来ないのです。でも家族様に説明するとそれでもいいですと。本人が欲しいと言っているのです、私たちが出来ることは提供したいと。

1年に1度か2度話し合う事があるのですが、私はリスクの同意書を作り、このようなリスクがあります。部屋で食べることによって喉に詰まらせる可能性があります。それを理解したうえで提供されるのですねと、リスクの同意書を書いていただいて、あとは目をつぶるのですが万が一それで喉に詰めて亡くなったとしても、本人様や家族様が望む生き方をしたのであれば人としての選択肢なのかと思いますが、逆にどうしたら良いのか一度お聞きしたくて。職員も戸惑っているのですが、雁字搦めで止めるなと私は言うのですが。

ご意見：(市職員)

家族様は同意書を書いてでも良いとしても、家族ではない方がお部屋に入って食べてしまうと言う違うリスクも出てくるのでは無いかと思われます。勝手に食べた方の家族様がどう思われるか。

皆様に同意書を書いてもらうのですか？

(施設長)：そうですね。私たちの積止めを超えた方ですね。なるべく預けてください。

本人が食べたい時にお出ししますのでとお伝えしているけれど、こっそり置いて帰られる方や、食べたい時に食べさせたいのですと言われる家族様に、危険な事、リスクも分かった上で提供されるのですねとサインしていただくのですが、何かあった時に我々は回避するための説明責任は果たしていると思うのです。私の祖母も老人ホームに入居しているのですが、私も少し食べ物を置いて行くのですが、常食でしっかり食べられているのですが、食べたいものを夜中に食べたいとなった時に、職員に出してはもらいにいくのですし、家族の気持ちも分かるのです。ですので、どうしたら良いかと思ひまして。

自分が利用者の立場であれば、その都度頼むよりは置いておいて欲しいと思うので、それで食べて喉に詰めたとしても食べた自分の責任だと思うので、我々

が取り上げるのはいきすぎなのでは無いかと感じてしまうのですが。

ご意見：(民生委員)

私の経験ですと、兄が施設に入っている時にお土産で喉に詰まらせない物が良いと思いゼリーだったら大丈夫かと思いゼリーを持って行ったのですが、本人が寝ていたので施設の方に預けて食べさせて下さいと伝えたのですが、あとから知り合いのケアマネに聞くと、施設に預けても食べさせないところもいっぱいあるからと言われたので、本人が起きている時には自分で食べさせていました。自分で買ってきた物を自分で食べさせて、いっぱい食べたなと思ったりしました。確実に食べたいと言うなら面会の時に食べさせてあげて、自分で管理して食べるとなると、どうしても喉に詰めてしまったらと心配してしまうので。

(施設長)：そうですね。加古川市の職員さんどうですか？自己決定と言う所で。

ご意見：(市職員)

そうですね。自己決定と言う所も大事だと思いますし、これが喉に詰める物なのか、家族としては判断しかねる物もあると思います。以外にこれは駄目なのだなという物もあるかと思うので、リスクがあるのですよと説明するという事は大事ですし、説明しました。このように同意もいただきましたとリスクの同意をしていただくのは良いと思います。喉に詰まらせてしまうと、ご家族に連絡をしたり、病院へ行くこともありますので、そのあたりの見極めという所が大事であると思います。あまり明確なお答えが出来なくて申し訳ないのですが、そのような所はあろうかと思います。

ご意見：(民生委員)

少し話は変わりますが、手術する際に同意書と言う物を書かされるのですが手術をすることで何があっても責任を問いません。しかし書かないと手術してもらえないので書きますが、しかしお話を聞いてみるとあれは何の効力もありませんよ、手術で何かあれば医者を訴えられます。同意書を書いてもらうことでリスクの回避になるかと言うと回避にならない。もし私が手術を受けて死ぬことがあれば、家族は医者に対して何か言うでしょうね。ですので、このような問題はリスクを回避しようとしても回避できなくて、気持ちの上でお互いに整理が出来ていると言うだけで、お話をこの医者との同意書と同じような話であると思いながら聞いていました。私は施設側として安全を守ることは第一優先だと思います。施設としてその義務を負えないと思うのでしたら、おやつを預かります。置いて帰っては駄目ですよと家族様にきちっと強調されてそれでも置いて帰られたなら、それはきちっとしていますと証明されていれば司法がどう判断するかになってくると思います。私は転倒の危険性が高いです。でも身体拘束はしませんという気持ちのせめぎあいだと思うのです。どっちを

主に置くのですかと。拘束しない事を主とするならば安全第一では無くなることも施設としては責任を負いますという事になるのだと思います。

ですので、安全第一ではなく拘束もしませんと言うなら、その事を家族には言わないといけないと思います。かなり難しい問題かと思います。

(施設長)：一番戸惑うのは、現場の職員だと思います。怪我をさせてはいけないが自由も選ばないといけない。施設長である私がどちらも大事でせめぎあいですが方針を出さないと現場の方が間違った身体拘束をしてしまう可能性があるので責任を取る覚悟で、利用者様の自由を優先して下さい。それによって事故が起きるリスクは発生します。ただ自由の優先イコールほったらかしではないですよ。見守りなどの配慮は必要です。ただ拘束してまで事故を減らすという事は考えないように。食事に関しては、リスクも全部説明した上で選ばれるなら仕方ない。説明すると言う意味でリスク同意書を書いていただいて、あとは自己決定、家族と本人にあると言う形でしていかななくては我々が管理して無事故無違反が立派な施設だとは自分ではとらえたくないと思っています。本人様の人生や家族様の思いが活かされてこそ特養の意義があると思っています。リスクを背負ってやっていこうという思いです。

ご意見：(民生委員)

固い話をするとう家族様も反発する事もあるかもしれませんが、最初に入居される時にきちんと説明しておかないと、後々トラブルのもとになってきますしこの施設はどのような施設なのだと、逆に言うとそれが特徴なのだとご家族の方に施設を理解していただく為にも説明していくしかないと思いますね。

ご意見：(地域包括支援センター)

1階2階3階とどの様に分けておられるのですか？ご様子で分けておられる？

(施設長)：いえ、居室が空けばそこに入居していただく様にしています。

ご意見：(地域包括支援センター)

私の親がお世話になり、いつでも食べて良いよと言われてれば、食べさせたい気持ちはあります。逆に私の親が認知症になり全然分からない、別の方のお部屋に入って食べてしまい、それでむせてしまって、だから皆食べ物預けて欲しいと伝えているのに、決まりを守れない人がいるから気持ちも出てくると思うので、難しいと思います。同意書を書いても、私は絶対預けるので同意書なんてと言う事になるだろうと思います。

(施設長)：それは市として行政として方向、方針が出た方がしやすいのですけれど。自己決定と言いながら安全配慮という矛盾で、私がこれほどせめぎあっているのが現場職員は、私たちはどうすれば良いのかと思っています。でも答えは無いと思います。バランスですよね。

ご意見：(市職員)

難しいですね。施設長としての気持ちと施設長としての立場と、自身のおばあ様を預けていらっしゃる家族的な立場として両方見えてしまうので、色々と考えてしまうと言う所もあろうかと思うのですが、万人に良いと言うものは無いと思います。同意書を取ったとしても言われる方は言われると思いますし、それなら仕方ないですねと言う方もいらっしゃるかもしれませんが、色々と説明していく、家族様に理解していただくと言うのは必要かと思います。

(施設長)：そうですね。○田様は家族的に、お部屋で面会に来ていない日も食べたい時に食べたいと言われたらどう思われますか？

ご意見：(利用者家族)

そうですね。一度誤嚥性肺炎で10日ほど入院したことがあり、その後にビスケット等は駄目と言われた時は、私が来られない時には家でプリンを作り、持ってきて施設に10時に出して下さいと預けて、そのあたりはすごく家族の事を思っ下さるし、本人の事もとてもよく思っ下さっているのが本当に助かっています。主人は食いしん坊ですので食べることがとても大事なのです。ですので、それを止められてしまうとキツイと思います。でもそれでもし駄目なら諦めもつくので、これからどのくらい生きられるか分かりませんが、我慢我慢我慢して甘いものも食べられずにいくのも可哀そうですし。ここは本当にそういった事は配慮して下さるので助かっています。

(施設長)：ありがとうございます。介護職員さん、そういう事で食べる楽しみを私達が安全に、奪わないようにしていくようにお願いします。

(介護職員)：はい。分かりました。

(施設長)：他に何かございますか？○田様、他に要望などあれば仰って下さい。

ご意見：(利用者家族)

本人は落ち着いていますし、そうですね本人は腰痛が酷いので、食事の時間以外は座れないので、今日の会議に参加は出来なかったのですが、代わりに何か言っておくことはあるか聞いてみたのですが、何もないと言っていました。満足しています。ありがとうございます。

(施設長)：他にないようでしたら、今日は良い勉強をさせていただきました。今後も私達は勉強していきます。皆様のご意見や知恵など提供していただければと思います。これを持ちまして第4回の運営推進会議を終わりたいと思います。今日はお忙しい中お時間をいただきましてありがとうございました。

(一同)：ありがとうございました。

以上